

日本の近代戯曲を読む！

“近代”戯曲を読み直し、“現在”の問題を見つめ直す。
何が語られ、何が捨てられてきたのか。新たな発見を求めて、
戯曲を「読み」、そしてシンポジウムで「語る」。

1912年に大阪市生まれ。三高在学中の
1932年処女戯曲『ダムにて』を発表。
1934年、同人誌『部屋』に掲載された
『一家風』が小山祐士と田中千禾夫の目に
とまり、執筆を依頼されて書いた『みごとな
女』が岩田豊雄に賞賛される。1935年には、
『華々しき一族』、36年には『かくて新年は』
を『劇作』に、『衣裳』を『文芸』に発表。
1938年に結婚し、まもなく上京。1940年
岩田豊雄の勧めで文学座に入る。森本薫
の最後の戯曲となった『女の一生』は、
1945年4月の東京で空襲の合間を縫うよう
に上演された。京都に疎開した森本薫は
肺結核が再発し、病床で敗戦を迎えた。
1946年に『女の一生』のプロローグとエビ
ローグを戦後の時点に書き直し、34歳で
夭折した。映画シナリオやラジオドラマの
執筆も数多い。



森本 薫
Kaoru Morimoto (1912-1946)

2月15日トークゲスト／3月11日シンポジウムパネラー
大笹吉雄(演劇評論家)

大阪市生まれ。早稲田大学文学部卒業。『演劇界』編集部を経て、
演劇評論家。著書『花顔の人・花柳草太郎伝』(講談社)、『現代演
劇の森』(講談社)、『日本現代演劇史』(白水社)、『女優 杉村春子』
(集英社)、『最後の岸田國士論』(中公叢書)など。

3月10日シンポジウムパネラー
高石宏輔(カリスマナンバ師／カウンセラー)

催眠術や非言語的な身体コミュニケーション技法、心理学に通暁して
いる。水商売などのスカウトマン、ナンパ講習講師、カウンセラーとい
う経歴を持つ。最近では、社会学者・宮台真司とのトークが書籍化さ
れた(『「絶望の時代」の希望の恋愛学』)。Twitter@lesyeuxx
Web「ナンパ、催眠を通して見出した他者と話すということ」

<お申込み方法> ※あらかじめご予約ください。

◎申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込み下さい。
◎メールでご予約の際は、件名を「チケット予約」とし、必要事項をご明記の
上お申し込みください。予約完了メールが届いた時点で予約完了となります。

<お申込み・お問合せ先>一般社団法人日本演出者協会(担当：川口)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 3F
TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075 携帯: 090-1016-7092
専用メールアドレス: kindaigikyoku@yahoo.co.jp
※受付開始、開場は開演の30分前です。
※受付は開演の5分前までにお済ませください。5分前を過ぎますとご予約を
頂いてもお席をご用意できない場合があります。



東京メトロ丸の内線「西新宿」出口2より徒歩7分

未生文庫

JR・東京メトロ
「駒込駅」徒歩約5分
東京都豊島区駒込3-3-4



「劇」小劇場

小田急線・井の頭線
「下北沢」徒歩3分
東京都世田谷区北沢2-6-6
TEL 03(3466)0020



参加申込み票

氏名	フリガナ	性別	男・女	電話:									
ご住所	〒	FAX:		E-mail:									
研修見学 (○で囲む)	2/7	2/13	2/15	2/18	2/25	3/2	3/4	3/6	リーディング シンポジウム	3/10 (月)	枚	3/11 (月)	枚